

平成23年教育委員会第10回臨時会会議録

開会日時 平成23年10月24日 午前10時00分

閉会日時 同 上 午前10時45分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 佐藤 昭
同職務代理 面田 博子
委員 松本 實
委員 遠藤 勝男
委員 秋本 則子
教育長 山崎 喜久雄

議場出席委員

・教育次長	内山 利之	・教育振興担当部長	坂田 祐次
・庶務課長	駒井 正美	・教育計画推進担当課長	小曾根 豊
・施設課長	齋藤 登	・学務課長	土肥 直人
・指導室長	平沢 安正	・統括指導主事	江田 真朗
・地域教育課長	今關総一郎	・生涯学習課長	宮地 智弘
・生涯スポーツ課長	柴田 賢司	・副参事	濱田 茂男
・中央図書館長	梅田 義郎		

書 記

・企画係長 菊池 嘉昭

開会宣言 委員長 佐藤 昭 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 佐藤 昭 委員 面田 博子 委員 山崎 喜久雄
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

○委員長 おはようございます。

○全員 おはようございます。

○委員長 ただいまより平成23年教育委員会第10回臨時会を開会いたします。

初めに、本日の会議録の署名は、私を含めて、面田委員と山崎教育長にお願いいたします。

それでは、議案等に入ります。

議案第49号「葛飾区教育委員会の権限委任に関する規則の一部を改正する規則」を上程いたします。

指導室長、お願いいたします。

○指導室長 議案第49号「葛飾区教育委員会の権限委任に関する規則の一部を改正する規則」についてご説明いたします。

提案理由でございます。東京都教育委員会の事務処理の特例に関する条例の改正に伴い、所要の改正をする必要がありますので、本案を提出いたします。

内容でございます。葛飾区教育委員会の権限委任に関する規則（平成12年葛飾区教育委員会規則第29号）の一部を次のように改正いたします。

付則第2項中「平成22年度等における子ども手当の支給に関する法律(平成22年法律第19号)」を「平成23年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法(平成23年法律第107号)」に、また、「規定及び」を「規定並びに同法附則第3条及び附則第4条の規定並びに」に改めるものでございます。

この規則は公布の日から施行いたします。

経過措置といたしまして、平成22年度等における子ども手当の支給に関する法律に基づく子ども手当の認定及び支給につきましては、改正後の付則第2項の規定にかかわらず、なお従前の例によることとなります。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまのご説明に何かご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○委員長 ないようですので、お諮りいたします。

議案第49号は、原案どおり可決・確定することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしと認め、議案第49号「葛飾区教育委員会の権限委任に関する規則の一部を改正する規則」は可決といたします。

議案は以上です。

報告事項等に入ります。

報告事項等1「平成22年度葛飾区各会計歳入歳出決算の審査について」をお願いいたします。

庶務課長。

○庶務課長 それでは、「平成22年度葛飾区各会計歳入歳出決算の審査について」、ご報告申し上げます。

教育費につきましては決算審査特別委員会の第4分科会において審査をされました。そこでの各会派の意見について、教育費にかかわる部分についてご説明を申し上げます。

まず、葛飾区議会公明党の意見でございます。

教育費については、確かな学力の定着度調査における結果の問題点を精査し、小中学校の学力向上に向け、指導室の機能を強化するなどダイナミックな改善を要望します。学習指導要領に盛り込まれた放射線に関する学習では、早急なる教員研修の実施と、現実的・具体的な情報を授業に反映されるよう望みます。教職員研修については、現場に即した内容で実施されるよう要望します。給食食器のリサイクルを更に推進することを望みます。各学校のHPにおける給食の情報発信に更なる工夫を要望します。本区初の小中一貫校である新小岩学園では、現状の課題解決に積極的に取り組み、次期開校予定校への良きモデルケースとなるよう期待します。学校避難所運営においては、災害を想定した際に各関係者の連携方法など密に検討し、実効性のある運営マニュアルの整備を望みます。

続きまして、自由民主党議員団でございます。

教育費については、教育の充実に向け、教育振興ビジョン（第2次）を推進し、学校教育の現場で着実に推進している点を高く評価します。確かな学力の定着度調査において、ふりかえり学習の一層の充実が図られることにより、今後、学力が向上することを期待します。CAP講習会においては、講習終了後のアフターフォローを強化し、保護者への周知を徹底するとともに、保護者が参加しやすいように、日時の工夫が必要であると思われれます。小中一貫教育において、教育振興プランを着実に推進し、4月より、モデル校として新小岩学園がスタートしました。ここでのさまざまな意見、学校・保護者・生徒などの生の声をいかし、今後の運営に反映することを強く要望します。中学校の職場体験事業において、企業の協力による全校実施を高く評価します。

続きまして、日本共産党葛飾区議会議員団でございます。

教育施設積立基金をルールに基づいて積立をせず、庁舎建替基金の積み増しを優先させたことは、将来の学校建設に支障をきたしかねないもので許されない。葛飾は23区内で放射線量が最も高い状況であり、学校通学路や砂場以外の学校施設の除染が必要である。給食の食材検査のために測定器を購入すべきである。就学援助の支給基準が23区内で最低レベルであり、支給基準の改善、費目認定の拡大、また申請方法の改善を求める。中青戸小学校の建替のための基

本設計を近隣住民の理解を得ずに進め問題になっているが、近隣住民に理解の得られる計画に変更すべきである。

続きまして、次のページでございます。民主党葛飾の意見でございます。

教育総務費は、学習支援講師派遣事業経費や学習サポーター派遣事業経費等外部人材活用については様々な観点から効果を検証し、より良い活用方法の模索を望む。教育情報化推進経費は、教員の事務等物理的な負担軽減とともに、精神的な負担を軽減するようポータルサイトやカウンセラー等を活用した教員のメンタルヘルス対策を望む。あいさつ運動推進事業経費は、一定の効果があり評価をする。熱心に取り組んでいる地域へ更なる後押しの検討を望む。社会教育費は、東京理科大学連携事業経費について、実際の進学に関して大学・東京都と連携した施策となるよう検討を望む。

続きまして、地域政党葛飾の意見でございます。

教育費では、中青戸小学校改築において基金を積まない状況で実施されたため計画性が感じられず、また地域性を前提とした今後の学校のあり方が伝わらない。今後早急に地域性を踏まえた中長期的改築計画を示されたい。放課後子ども事業について、良い事業ではあるが、利用率や地域のバックアップ等の課題が残されており、大胆な工夫が必要と考える。あいさつ運動について、教員自らのあいさつを徹底されたい。全小中学校の雨水利用ミニダムについて、雨どいや側溝への放射線量の高さが問題になる中、早急に放射線量測定と洗浄を実施、または使用中止をされたい。学校給食の食材についての放射線量測定器の購入は、国の方針ではなく区民ニーズに沿った対応として早急に購入し実施を強く求める。平成25年度以降のあだたら高原学園の利用とあり方を検討されたい。陸上競技大会では、公式審判員設置の要請と都あて大会の申請を要望する。

続きまして、無所属議員でございます。

教育費については、これまでも議会で小中学校の水道管理がずさんであることを指摘してきた。平成22年度では、東金町中学校プール流出事件で500万円相当の損害が出たにもかかわらず、責任者に対して一部でも求償しないことは理解できず、この支出については認められない。漏水については3校で発生し、現在、都の水道局に減免申請を行っているとのことであるが、今後は日常的にメーターのチェックを行うなど、被害を最小限にとどめる努力をすべきである。また、水道使用量が前年度比1.5倍に増えた2校については、原因の特定ができないなど、管理不十分と思われる状況である。プールで使用したというのであれば、使用記録等の提出を学校に求めて調査すべきである。そして、今年度も既に4校で水道の事故報告があったとのことだが、小中学校の水道料金も公金で支払われていることをしっかりと自覚するとともに、改めて管理の徹底を図って欲しい。

続きまして、別の無所属議員でございます。

教育費については、おおむね妥当な執行であったと評価する。23区に先駆けての全校配置のスクールカウンセラー派遣事業は、実に効果的であり今後の教育向上に一層の期待をするものである。ただし、不登校の問題が解消されていないため、よりきめ細かな指導及び心の通った教育を求めるものである。いじめの問題については、改善されているものお互いに助け合い、かつ信頼し合う豊かな教育を目指してもらいたい。中学生の職場体験は、今後も引き続き実施していただきたい。健康教育の推進では、保健所と連携し、小学校23校で喫煙防止教室を、中学校6校で性感染症予防に関する授業を実施したことは高く評価をするもので、今後もさらに拡充し、心身ともに健全な本区の小中学校の教育をめざしてもらいたい。特色ある学校づくりについても、全小中学校で創意を凝らして取り組んでいることは評価するもので、今後もより豊かな創意、工夫に期待する。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいま庶務課長より報告がありましたが、何か質問、ご意見等ございますでしょうか。

面田委員。

○面田委員 今伺いました。各会派からいろいろご意見が出ております。教育委員会が進めている事業、推進していることについて高く評価をいただいている項目もあるし、それからまた、厳しいご意見をいただいている部分もありましたが、私たちが期待にこたえるのだという意味でこのことを受けとめて進めていく、今までのやり方以上に頑張っていきたいなと思いました。

特に気になったのが、細かいことではあるのですが、「教員自らのあいさつを徹底されたい」というようなことをご指摘されたのはちょっと残念だなという思いでございました。学校などへ行きますと、先生方もかなりごあいさつしてくださっているし、私もあいさつしているつもりなのですが、そのあたりがまだ身につけていないということかなと。子どもたちにとっての教員は一つのお手本でありモデルですから、そのあたりは徹底したいなという思いがありました。

以上です。

○委員長 指導室長。

○指導室長 決特では、議員から、大変すばらしいあいさつができている中学校のご紹介と、そうではなくて、議員ということを隠して学校へ行ったときに、先生方があいさつをしない学校があるというご指摘と、両方いただきました。確かに、今、委員おっしゃるように、まず教員が明るく元気よくあいさつすることが大事だというふうに思っていますので、このことは、今後のあいさつ運動の推進に向けて厳しい指摘というふうにとらえて、各学校へ改めて、教員の先生としての意識みたいなものやっていく必要があるかなというふうに思っております。

す。

○面田委員 よろしくお願ひします。

○委員長 よろしいですか。

○面田委員 はい。

○委員長 ほかにございませんか。

松本委員。

○松本委員 各会派から言われたことについては、今後検討してやっていかなければいけないものもありますが、校長会や現場に伝えて、なおしっかりやっていく面と、こういうことを言われてよかったとか、こういうことを言われているよということは伝えたほうがいいと思うので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、質問なのですけれども、地域政党葛飾の一番最後の行です。私、陸上競技協会の相談役をやっているものですから、ちょっとわからない点があるのですけれども、「競技大会では、公式審判員設置の要請」とありますが、競技大会をやるときは公式公認審判員を全部つけておりますので、どういふことかなと思ひます。

もう1点は、「都あて大会の申請を要望する」とありますけれども、競技会はずべて東京都の陸上競技連盟に、上に申請しておりますので、どう改善していく点を言われているのか教えていただきたいと思ひます。

○委員長 指導室長。

○指導室長 中学校の陸上、また、今回第1回目になります小学校の陸上、これで出た記録が都の公認の記録になればさらに励みになるのではないかというよふな視点でのご質問でございました。

○松本委員 わかりました。

○委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

(「はい」の声あり)

○委員長 なければ、報告事項等1は了承といたします。

続きまして、報告事項等2「平成24年度中学校第2学年移動教室の実施について」をお願ひいたします。

指導室長。

○指導室長 報告事項等2「平成24年度中学校第2学年移動教室の実施について」、ご報告をいたします。資料をごらんいただければと思ひます。

9月26日の第9回本委員会臨時会でご報告したところでございますが、平成24年度中学校第2学年の移動教室につきましては、あだたらではなく、民間宿泊施設を利用し、2泊3日の日

程で実施をしたいと考えています。中学校移動教室検討委員会を2回開催いたしまして、今後の方向性について別紙1のとおり検討いたしました。各中学校において、あだたら高原移動教室の「意義・ねらい」を引き継ぎ、自然に親しみ、体験学習のできる場所を選定していきたいと思っています。2日目は、4時間から5時間程度の登山またはハイキングを実施したいというふうに考えています。

その宿泊施設等の選定方法でございますけれども、民間事業者からの事業提案によるプロポーザル方式によって選定を考えています。9月29日に第1回選定委員会を開催いたしまして、10月14日からホームページ上で募集を掲載しております。今後の日程につきましては資料にあるとおりでございます。

報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまの報告につきまして何かございますか。

遠藤委員。

○遠藤委員 けさの新聞を見ましたら、放射能の流れについて民間の大学の先生が調査した結果が出ておりました。この移動教室を開催するに当たっての宿泊場所については、この放射能の流れ等をよく調査されて選定しなければならないのではないかというふうに思っております。

と申しますのは、どこまでこういう流れがいつているのか。もしその流れの中にこうした宿泊施設があるとすれば、またさまざまな意見が出てきて、また反応があつて、また大きな問題になりはしないかというふうに心配しているところではありますが、その点についてはいかがでしょうか。

○委員長 指導室長。

○指導室長 今回、あだたら高原学園ではなく別の民間施設に移す理由が、放射線量の高さということでございますので、今回、当然、新たな提案をするところにつきましては放射線量を測定し、その結果を踏まえてということで実施をしていきたいというふうに考えてございます。

○委員長 よろしいですか。

○遠藤委員 はい。

○委員長 面田委員。

○面田委員 あだたらが使えないということでのいろいろなご苦勞、本当にありがたく思います。やはり子どもにとって、2泊3日の内容のある、意義やねらいが達成できる宿泊施設、移動教室にしてもらいたいと思います。プロポーザル方式だと、ここに「提案限度価格内で」と。お金があまりかからないようにということだと思ふのです。私、よくわかりませんが、お金も

大事だけれども、中学生の子どもたちが宿泊するのにふさわしい、ぜひそこらあたりをきちんと踏まえた上で選定をお願いしたいなと思うのです。今までのあだたらは、子どもたちが安全に使える施設としていろいろ工夫があったと思うのですね。食事もそうでしょうし、いろいろなものすべてそうだと思うのです。設備やそういうものが……。今回もそういうことにも力点を置いた審査を進めていただいて、ぜひ子どもたちが安心して使えるような宿泊施設を選んでいただきたいなと思いました。

それからもう一つ、ずっと読んでおられますと、別紙のほうに、スキー教室は「見直しを行いたい」というふうに書いてあったのですが、「見直しを行いたい」ということは、もうスキー教室は実施しないというふうに読んだらいいのかなと思ったので、そのあたりをお聞きしたい。

それから、今の別紙1の終わりのほうにも書いてありますが、登山とかハイキングをするところも業者さんから情報を得るというように読み取ったのですけれども、そのあたりのところも、葛飾の中学生の子どもたちがやるわけですから、それにふさわしい情報を持っている業者さんだといいなという思いで説明を伺いました。そのあたりのところ、わかる範囲で教えてください。

○委員長 指導室長。

○指導室長 まず、あだたら高原学園の趣旨は、前にもご報告したように三つあるというふうにとらえていまして、一つは自然体験、それから友人との交流を含めた社会体験、それと心身を鍛えるという三つの大きな柱でございます。そこに見合う施設、それから登山・ハイキングルート、それをあわせまして、さまざまな評価項目をこちらのほうで準備いたしますけれども、業者提案を細かく評価させていただいて、本区の2年生の移動教室に最もふさわしい場所をとということで業者を選定していきたいというふうに考えています。

スキーにつきましては、中学校長会の意見を踏まえまして、来年度については実施を行わないというふうに方向を定めておりますが、来年度新たに、24年度実施を含めて実施状況等を踏まえて検討を進めていく中で、スキーについては再度検討の材料になるかなというふうに思っています。これで完全に打ち切りというふうなイメージではないというふうにとらえているところでございます。

登山ルートにつきましては、業者の提案の中に、これまでの実施とほぼ同じような形、例えば指導者、ガイドさんというようなところもつけてということの提案、もちろん安全ということと豊かな自然体験というようなところが評価項目になっているはずですので、そんなところを評価して、いいコースを選んでいきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長 よろしいですか。

○面田委員 安心しました。

○委員長 松本委員。

○松本委員 何点か申し上げたいと思います。

一つは、スキーはやはりやめたほうがよいと思います。ほかの自治体でやっているところは、自分の区で施設を持っているところだけがやっているの、このようにどこかを借りてやる場合は極めて困難だと思いますし、24校全部の学校がやるということは至難のわざになるので、これでいいと思います。

それから、場所を選ぶ場合、今年度1泊になってしまいましたけれどもやりましたので、その中でここはいいぞというところがあったら、それも参考にしたらよいと思います。先ほど言われた放射線の流れも検討して、それも参考にさせていただきたいと思います。

それから、多分、現場の校長たちが心配しているのは、東京都に教育課程を届け出なければならぬので、特に2年生の教育課程というのは、職場体験とか、移動教室とか、行事が大変多いので、組むのに、それから24校入れるのに大変なことが起こるので、私は、業者を決めるのと並行しなから、各学校にどの時期に可能かというのを考えさせていったほうがいいのではないかというふうに思います。

以上です。

○委員長 指導室長。

○指導室長 まず日程の件でございますが、検討委員会でも、今、委員ご指摘のようなご意見をいただきました。まだ業者も行き先も決まっていなくても、とりあえず2泊3日の日程だけは決めざるを得ないだろうというのが中学校の校長会、副校長会のほうからのご意見でございました。早目にそのスケジュールだけは確定をさせていただいて、それと同時に、行き先と業者をとということになっていくのかなというふうに思っています。また、その行き先を決めていく中には、ことしの代替実施の実施状況なども反映させていただきながら、よりいい形で進めていきたいというふうに考えてございます。

以上です。

○委員長 ほかにございませんか。

(「結構です」の声あり)

○委員長 なければ、報告事項等2は了承といたします。

続きまして、報告事項等3「スポーツフェスティバル2011の実施結果について」をお願いいたします。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 それでは、報告事項等3「スポーツフェスティバル2011の実施結果について」、ご報告いたします。資料をごらんください。

まず、実施日時でございます。23年10月10日の月曜日、久々の10月10日の体育の日となった日でございます。時間は8時から夜9時までかかってございます。当日、未明まで雨が非常に激しく降っておりましたが、翌朝、陸上競技場ほか、条件としては雨の流れが早く終わって開催することができました。

会場につきましては、総合スポーツセンター体育館・陸上競技場ほかでございます。

天候は晴天ということでございます。

参加人数でございます。延べ2万9,122人と計上されてございます。昨年比は、約400人弱減った状況でございます。延べ人数内訳でございます。陸上競技場（35回区民大運動会ほか）ということで、こちらは昨年より500人ほど人数が減って6,000人ということでございます。そのほか陸上競技場周辺イベントということで、お子さん連れの親子連れに非常に多くご参加いただきました。9,468人。体育館の各種プログラムへの参加8,922人ほかでございます。以下、ごらんのとおりでございます。

そのほか、民間スポーツ施設利用者218人、郊外イベント——これはハイキングでございますが、42人の参加となっております。

5「地区別対抗競技結果」でございます。総合優勝・水元地区、準優勝・東立石地区、第3位・青戸地区となっております。こちらにつきましては、3地区とも、綱引き、ムカデ競走、リレーの総合得点がいずれも85点ということで同点になってございましたが、リレーによる順位によるという内規に基づきましてこの順位となったものでございます。

そのほか、6番でございます。救護・迷子件数につきましては、救護18件、迷子6件、合計24件となっております。うち、救急搬送が必要だった案件は、陸上競技場の男子トイレで転倒されたお客様がいらっしゃいました。この方はお酒を飲まれていらっしゃいまして、ご自分で転倒されて頭部のほうに切り傷をつくってしまったというふうな状況でございます。救急搬送を非常に抵抗されたということ聞いておりますが、一応頭部のけがということでございましたので、救急車のほうに乗せて平成立石病院のほうに搬送されたということでございました。状況については、その後問題なくということで話を聞いてございます。

以上、ご報告させていただきました。ありがとうございました。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまの説明に何か。

遠藤委員。

○遠藤委員 大成功のこの葛飾スポーツフェスティバル2011に対しまして、お祝いを申し上げるとともに、感謝を申し上げたいと思います。

まず、天気ではありますが、見事な晴れの天気になりまして、わくわくするような天気でありました。なおかつ、グラウンドに来られた皆さんも大変楽しみにしている様子がよくわかりま

した。その上で、今度は統一されたきれいなテントになったものですから、あれを見た方々も、ことしは一步も二歩も新しい趣になって気持ちがわくわくしたのではないかというふうに思います。参加された方に終わってから聞きましたところ、中年の方でありましたが、毎年出ているという方がおりました。「これを私の年間の楽しみにしている」という方でありました。この10月10日というのは、昔で言うところ「陸軍の日」というふうになっているらしいのです。その方がこの10月10日を楽しみにしている理由というのも、こういうふうにして平和な祭典になっているということに対して意義を感じている方でありました。これを来年も再来年も葛飾区の楽しい伝統として位置づけて、末長く実施をしていただきたいというふうに思っております。これは、私の意見であり、感謝の気持ちでありますので、受け取っていただければと思います。

以上です。

○委員長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 お褒めの言葉、非常にありがとうございます。今回、少しずつでございますが、いろいろな理由のもとで、参加人数というのは延べ人数の中では減っているような状況ではございますが、大会ほか、各施設を利用されている方はふえている傾向もございます。スポーツ基本法に基づいた重要なイベントだと思っておりますので、こちらのほうをまた充実させていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

○委員長 ほかにございませんか。

松本委員。

○松本委員 感想とお礼です。

すばらしい天気で大成功だったと思います。関係された方々に感謝したいと思います。私は、このスポーツフェスティバルの流れをずっと知っておりますので、本当にいいイベントになってきたなと思っております。ぐらりと会場を回ったのですけれども、各地区のテントの中には、小学校の校長、それからその地域の地区委員の方々、日ごろ学校に、あるいはその地域に貢献されている方々がたくさんいらっしゃいまして、熱烈的な応援をしておりました。この方たちがこの教育委員会の「教育振興ビジョン」や「生涯学習振興ビジョン」とか「スポーツ振興計画」を協力して支えていただいている方であり、また、このような大災害が起きたときにも莫大なエネルギーとなって支えてくださるのだなと思っております、ありがたいと思っております。

それから、そういうスポーツ関係だけでなく、福祉協議会とかさまざまところでイベントを支えていらっしゃる方にも頭が下がる思いで帰ってきました。

以上です。

○委員長 ほかにございませんか。

秋本委員。

○秋本委員 私も、この日、参加させていただきまして、本当に楽しく拝見させていただきました。毎年この10日というのは快晴、お天気がよくて、お客様もたくさんみえたことと思います。延べ人数が昨年とそれほど変わらない。その前の年よりは大幅減っているような人数ですけれども、参加している人数だけを書いてあるかと思うのです。この子どもたちを参加させるに当たって、地域の方や校長先生、副校長先生、また教諭等、たくさんの方が付き添いとか応援に回り、この大会で優勝させたい、準優勝させたい、いい成績を残させたいという思いの地域の方々と、これを支えている人たちが、参加させてもらっている人数に対してその何倍もいらっしゃるので、本当はここに書かれている人数よりもたくさんいらっしゃるのかなと思いました。毎年人数は減っているようですけれども、もしかしたら多くなっているのかなというふうに思いました。大成功に終わったのではないかなと思います。ありがとうございます。

○委員長 ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○委員長 なければ、報告事項等3は了承といたします。

これで報告事項等は終了ですが、教育委員の先生方、何かございませんか。

面田委員。

○面田委員 ちょっと感想みたいなことでよろしいですか。

この間、11月7日でしたか、後ろにあります「始めよう 朝のあいさつ あなたから」の表彰式に出させていただきますました。入賞したお子さんたちばかりでしたが、そのお子さんの数よりも保護者の方のほうが多いぐらい、皆さん関心を持って表彰式に来ておられました。一人一人前へ出て感想を述べたのですけれども、その態度がとてもはきはきして、そしてしっかりと自分の考えを述べていたということで、育っているなという思いでありがたく思いました。各学校は、子どもたちを、そういう目指す方向を決めて育ててくれているのだなという思いが改めてして、お礼を申し上げたいなど。

重ねて、実はこの間、ある研究指定校の発表会に参加させていただきました。私の記憶の中には、その学校はそういう研究などをあまりしたことがない学校ではなかったのかなというのがあるのですけれども、参りましたら、そこは書くことを主にした研究発表だったのですが、どの教室も非常に集中していた。そして、先生がそんなに大きな声を出すのではないのだけれども、どの子もよく聞いていました。6年生か、40名近くのお子さんが教室にいたのだけれども、ざわざわした感じは全然なくて……。そして、驚いたのは、先生が「じゃあ、書きましよう」と言うと、さっと鉛筆を持って書き始めるのですね。それも20分間。こういうことができるのだということ。私自身が現場にいたときは、いろいろな材料も持って子どもたちに作文をやらせたのだけれども、20分間集中してあれだけ作文を書かせることは、恥ずかしながら私はできなかったのです。それと重ね合わせて、校内研究というかそういうものを受けて、先生た

ちが真剣に一つになって進んで研究をすれば、子どもたちというのはあんなに変わるのだというのを改めて見せていただきました。ご苦労は多かったと思いますが、感謝を申し上げたくて、今、二つとも頑張っているよという姿を皆様にご報告させていただきました。うれしかったです。指導室のご努力も多かったのではないかと思います。改めて、ありがとうございました。

感想です。

○委員長 事務局のほうは何かございますか。

学務課長。

○学務課長 それでは、給食用の牛乳の放射性物質検査の結果が出ましたので、確認のためご報告させていただきます。

区立小・中学校及び保田しおさい学校で提供しております牛乳の放射性物質検査でございますが、10月13日に検査の結果が出まして、放射性物質はいずれも検出されませんでした。報告させていただきたいと思います。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○委員長 では、私のほうから一つ。

先日、小学校の陸上競技大会を見させていただいたのですけれども、学校によって——名前を出すとあれですけれども、半田小学校とか白鳥小学校はゼッケンをつけてたくさんいるのですね。中には、参加しているのかどうかわからないような学校とかいろいろあったのですが、その辺はどうなっているのでしょうか。

指導室長。

○指導室長 大変申しわけありませんでした。

全校へ向けた実施の試行ということで、ことしは4分の1程度の学校さんについては6年生全員参加を目指して我々は計画したところだったのですが、ふたをあけてみますと、実際に全6年生を参加させたのは今お話にあった2校のみでした。あとは、昨年までの陸上記録会と同じ、いわゆる選手による参加ということにとどまってしまいました。その検討委員会は回をかなり重ねたのですけれども、小学校の校長会が実施に当たっている小体連の先生方との意見の中で、全児童参加というところまで我々のほうでお話ししきれなかったのかなというのが反省になってございます。すばらしい会場で本物の体験をするということは、教育委員会も、学校も同じ立場だというふうに思っているのですが、実際にあの時期の実施ということでは、さらに工夫をして、全校実施に向けた改善を進めていかなければいけないかなというふうに思っているところでございます。

○委員長 ありがとうございます。

面田委員。

○面田委員 それに関して。

あの日は「葛飾教育の日」でしたよね。それで私、たまたま午前中、半田小学校のほうへ見学に行ったのですけれども、校長先生とお話ししておりましたら、バスを出してくださったということで非常に喜んでおられました。そういうこともお伝えをしたいと思います。

○委員長 ほかにございませんね。

それでは、「その他」に入ります。

庶務課長、一括してお願いいたします。

○庶務課長 「その他」の1でございます。まず、「資料配付」でございます。「11月行事予定表」、それから「みんなの生涯学習」105号、「みんなの理科大学」、「かつしかのきょういく」116号をお配りしてございます。

2の「出席依頼」でございます。まず、11月10日、中学校連合学芸会、これは松本委員にお願いいたします。続きまして、11月24日木曜日、小学校連合音楽会（1日目）、面田委員にお願いします。11月25日金曜日、小学校連合音楽会（2日目午前の部）、遠藤委員にお願いいたします。同じく、25日、小学校連合音楽会（2日目午後の部）でございますけれども、これは委員長にお願いをいたします。続きまして、12月22日木曜日、子ども区議会でございます。これは全員にお願いをいたします。最後に、12月26日月曜日、朝食レシピコンテストでございます。これは面田委員と秋本委員のお二人にお願いをいたします。

次に、次回の教育委員会でございます。11月8日火曜日、午前10時から予定をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長 それでは、これをもちまして、第10回臨時会を閉会といたします。どうもありがとうございました。

閉会時刻 10時45分